

AJU

コンビニハウス

会報

編集/コンビニの会事務局
連絡先/〒452-0807 名古屋市西区歌里町 147 番地
TEL/FAX(052)505-6082(コンビニハウス)

障害をもつ人たちの地域生活を支援する

特定非営利活動法人
コンビニの会

定価/150 円
昭和 54 年 8 月 1 日第三種郵便物承認

第175号



夏の彩り、冷やし中華 (名古屋市のマチ中華にて)

トキメキの冷やし中華

フリー編集者 佐宗 圭子

夏らしい料理はいろいろあるが、アイスは年中食べているし、鰻は高価で何度も行けない。そうめんは定番すぎる。その点、冷やし中華は庶民的でありながら華があり、酢を効かせた味が夏向きだ。「冷やし中華始めました」の貼り紙に夏を感じる方も多いだろう。

冷やし中華の起源は中国の冷やし麺らしいが、作り方や味が独自で、昭和初期に生まれた日本の料理と考えられている。トマトやきゅうりなどの夏野菜、錦糸卵、ハムやチャーシュー、蒸し鶏、えびなど多彩な細切りの具材が、麺の丘から放射状に並ぶ様子に心が踊る。

茹でた麺を冷やして水切り、卵を焼いて具を細く切るなど手順が多く大変だ。近所の老夫婦が営むマチ中華でも冷やし中華は夏の人気メニューだ。注文時に、奥さんが明るい笑顔ながら、やや微妙な表情を浮かべていることを私は見逃さなかった。(次ページへ)

ラーメンと比べて100円ほど値段は高く設定しているものの、手間を考えるとコスパが良いとは言えない。しかし客が喜ぶからメニューから外せないのだろう。そんな中でも出来上がりはいつも丁寧でおいしい。ナルトの細切りとチエリーの人工的な色合いに、祭りや花火、かき氷などの、駆けていく若い夏の風物が連想され趣深い。

さて、今やコンビニの冷やし中華には当たり前のようマヨネーズが付く。いわゆる「冷やし中華にマヨネーズ問題」は中日新聞(2007年9月3日)の記事に詳しい。スガキヤ(本社名古屋市中区)がマヨネーズ味を加えた冷やしラーメンを1957年に発売し、65年頃から脇に添えるスタイルに変更。それがいつのまにか若者のマヨネーズ文化に乗り、関東と九州以外の全国に広まったという。つまり、時代を先取りした名古屋発信の味というわけだが、私自身はマヨネーズなし、からしたつぷり、海苔はのせてほしい派である。



名古屋市内の庶民的な食堂の
冷やし中華 (650円)。

具はしいたけ煮、かまぼこ、紅生姜、錦糸卵、ハム、トマト、きゅうり、刻み海苔、刻みネギ、氷一つ、マヨネーズ

雑記 ごまめの歯ざしり

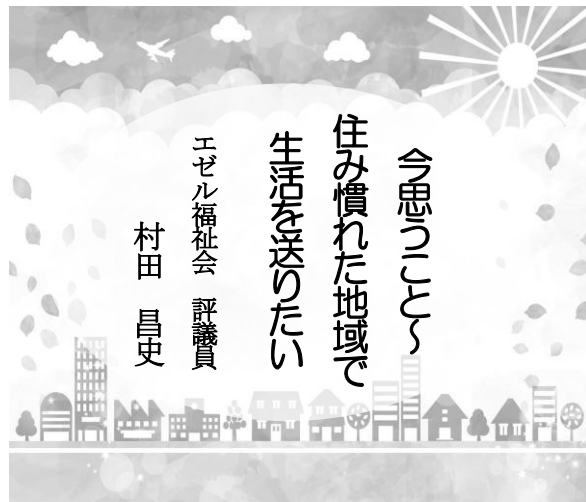
大きな客船のように

昨年(2006年)の十二月、五年前に亡くなった市江由紀子さんを偲ぶ会がV.O.L.O歌里のサロンで開かれました。私は初めての施設の訪れ、懐かしい仲間と再会することができました。広々とした素晴らしい施設を案内された時、あの頃(三十年程前)を思い出しました。

1996年、名古屋市区江向町にコンビニハウスが開所された当初から2007年に木曾に移るまでの十一年間、私は家事ボランティアとしてコンビニの会に関わりました。コンビニハウスは、二階建ての一般の住宅でしたので、アットホームな雰囲気がありました。利用者さんは、私たち家事ボラのことを近所の知り合いのおばさんがご飯を作りに来たように感じていたのでしょう。「泊まっていたら」と言われたこともありましたが、トイレもお風呂も狭く(後に改修された)、介助される方もする方も大変だったと思います。大学生の介助ボランティアさんたちは介助方法を学びながら、利用者さんと友人のような関係を築いていきました。「今日はAさんのリクエストで〇〇へ行って来ました」「Bさんにこんな変化がありました」。彼らは失敗談も含めて笑顔で話してくれました。「電気ポットの水をどれくらい入れたらいいですか?」と聞かれた時には、ちよつとびつくりしましたが(笑)、コンビニの家族の一員になったような気がして、家事ボラに行くのが楽しみでした。

私が木曾に来て十八年。その間に、コンビニの会はエゼル福祉会として生まれ変わりました。新しいニーズをすくい上げ荒波を乗り越えていく、大きな客船のような役割を果たしています。大所帯になっても、一人ひとりが夢を持ち、同じ目的地に向かって進んでいただきたいと思います。これからもエゼル福祉会の皆さんにエールを送り続けます! (支援者 上村 明美)

エゼル福祉会の評議員である村田さんにご自身の経験と障害福祉に対する思いについて書いていただきました。



今年で七十歳になり障害（脳性麻痺）がある身体は筋緊張が増し、生活が厳しくなっています。これからも皆さんのお力を借りながら自分らしく生きていきたいと願っています。

名古屋に来たのは心理学を学ぶために大

学に入学したことがきっかけです。卒業が迫り障害福祉にしぼって就職活動をする中でいくつかの事業所を捜し面接を受けました。しかし中々受け入れてくれる事業所はありません。たまたま名古屋ライトハウスとの出会いがあり、何もわからず措置の対象者として入所しました。

三十代半ばでみなと福祉会副理事長（当時）の磯崎さんと出会い、作業所づくりに加

わるとともに様々な活動をしてきました。無認可施設「しおかぜ」がしおかぜ作業所として認可され、私は磯崎さんの推薦でイルカ作業所の所長として勤務することになりました。障害者雇用が難しい時代に職員としての仕事を得心することに磯崎さんとみなと福祉会に感謝しています。

大川理事長との最初の出会いは、利用者家族と一緒にコンビニハウスを訪問して生活支援についての思いを熱く語って頂いた時でした。その後、私も生活支援の必要性を感じ

じ、みなと福祉会の中で居宅介護事業所ネットワークみなと（以下みなと）を作りました。名古屋市の事業所指定を受け、大川さんたちが立ち上げた名古屋生活支援事業所連絡会へ加盟しました。みなとの活動により地域のヘルパーさんの支援・協力を家族の要望につなげることができたと思っています。これらの活動を通してエゼル福祉会の評議員を引受けることになりました。

エゼル福祉会の評議員会の資料には必ずインデックスが貼ってあり会議にスムーズに参加できています。その他、色々な場面でも心遣いに感謝しています。コンビニハウスが個人と向き合うことを大事にしてきた理念がエゼル福祉会に研修等を通して引き継がれていると感じます。

七十代になり首から肩、背中、股関節にかけて圧迫感と痛みは強くなり、今までできたことができなくなったり、時間がかかったりするようになりました。加齢に加えて障害も

進行しているため座位をとると痛みが強く
なり、部屋にいる時はほとんどの時間は横に
なってます。ヘルパーさんのお世
話にならないと生活が成り立たない状況に
あります。しかし、介護業界の人材不足から
私の生活と合わず、ヘルパーさんの時間に合
わせざるを得ないのです。利用者として現在
3つの事業所と契約していますが、計画書以
外にスポットでヘルパーさんの追加派遣を
お願いしても地理的条件により訪問は難し
いと断られてしまいます。その課題を解決す
るには私が生活している地域で協力者を探
すことだと考えます。

1年前まではまれに転倒することはあり
ましたが何とか一人で移動できました。最近
はヘルパーさんなしでの移動に不安を感じ
ます。毎日横になっているばかりでは筋力低
下を招くため少しでも歩くようにしていま
すが、この先は間違いなく近距離も歩くこと
は難しくなるでしょう。だからこそ住み慣れ

た地域で生活を送るための協力者が必要と
なるのです。これは私だけの問題ではないと
思います。

先日、私の生活実態に沿った重度訪問介護
の時間数を支給して欲しいと区役所へ行き
ました。以前、更新手続き行った時には生活
状況を話す中で時間数は足りていますかと
聞いてくれた方もいましたが、いつも誠実な
対応をしてくれるわけではありません。今回
の話し合いの中で納得出来ないことはヘル
パーさんを募集するため大学に行く時に足
元が不安定のためヘルパーさんの同行を
へその他の外出36時間内へで利用するこ
とについての見解の相違です。区役所の見解
はヘルパー等募集のために大学へ行くこと
は**経済活動になるから認めることはできない**
と言うのです。(※) 以前、聞いた時には何
も言われませんでしたからこれ以上話して
も無駄だと思い、名古屋市に聞いてみますと
言って区役所をあとにしました。これらの活

動は経済活動でなく小さな啓発活動だと
思っていますし、住み慣れた地域で生活を送
るための手段だと思っています。

最後になりましたが、評議員になる機会を
いただいたことを感謝し、私の経験がエゼル
福祉会の活動に役立つよう今後もがんばり
ます。

(※) 障害者の日常生活及び社会生活を総合
的に支援するための法律に基づく指定障害
福祉サービス等及び基準該当障害福祉サー
ビスに要する費用の額の算定に関する基準
(平成十八年厚生労働省告示第五百二十三
号)において、重度訪問介護、同行援護及び
行動援護は、「通勤、営業活動等の経済活動に
係る外出、通年かつ長期にわたる外出及び社
会通念上適当でない外出」以外の外出時にお
ける移動中の介護等を行った場合には、報酬
上、算定できるものとされている。

厚生労働省 令和6年10月11日Q&Aより

灯台もと暗し

エゼル福祉会 理事長

大川 美知子

エゼル福祉会では、毎月第一土曜日、様々なジャンルの演奏家を招いてコンサートを開催していますが、毎月すぐに席が埋まってしまうほど好評を得ています。ちなみに6月はクラシックピアノの演奏があり、7月は津軽三味線の演奏、8月はチェロの演奏、9月はフラメンコギターの演奏と続きます。

ある時、音楽サロンで「私、ギターの演奏が聞きたいわ」とのリクエストがあり、ある方にギタリストの紹介をお願いしました。早速、ギターの演奏会が開かれましたが、後日

「私が聞きたかったのはフラメンコギターだった」と、残念な感想が寄せられました。そこで、フラメンコギター奏者探しを始めましたが、中々フラメンコギターの演奏ができる方がみつかりません。「フラメンコギター奏者は引つ張りだこなので」とみんなが口を揃えます。9月がどんどん近づいて来るのに演奏家は見つからない。諦めかけた時に、「見つかりました!!」との嬉しい知らせに安堵しました。

山田さんと言われるその方に、かなり緊張しながら「実は私も障害者の福祉団体で・・・」と電話すると「知っていますよ」と。「イヤ、いつの間に音楽サロンがそんなに有名になったのか・・・？」と不思議に思っている話を続けると、「僕、山田S子の父親です」と。S子さんは通所WILLの利

用者さんです。確かにS子さんのお父様が音楽活動をしておられる話は聞いていたのですが、こんな身近にフラメンコギターの奏者が存在しているとは思っていませんでした。

紹介者に依ると、S子さんのお父様はフラメンコギターの先生で、この地域でも一番の演奏者だとのことでした。本当に「灯台もと暗し」です。9月6日の音楽サロン、フラメンコギター演奏会にご期待下さい。



WILLを選んで

上田 利香



上田咲歩の母の上田利香です。ご依頼を受け少し娘のことについてお話をさせていただこうと思います。

娘の咲歩は自閉症です。今22歳です。背も高めで体格がよく、食べ物の好き嫌いが少ない元気な子です。中1で生理が始まった頃からイライラが強まり（PMS、月経前症候群が強めだと分かりました）自傷他害行為が増えました。中学までは地域の支援級に在籍しておりました。

西養護学校（現在…西特別支援学校）高等部に入學し、1年生の時より夏休みから卒業

後の進路として実習先を選んで行くことが必要との話があり、親が選り基本学校は資料の配布はあれどノータッチなのだと思い知りました。実習先がそのまま卒業後の進路になるのがベストだと思ったので、重視したのは①家からの距離と通いやすさ

②作業以外の活動が充実しているか

③本人にとって興味の持てる作業があるかでした。3箇所行きましたが総合的に考えて、

咲歩の好きなパズルに似た作業でお菓子を数えたりまとめたりする作業のある事業所に3年間実習で通わせていただき、咲歩も実習中楽しそうに作業もできていたのでそのまま卒業後もお世話になることにしました。

しかし咲歩の卒業年はコロナウィルスの始まりの年で、最後の学生生活も色々なことに制約がありました。それは卒業後も同じでコロナで余暇活動が全くなくなってしまっ

た事業所に毎日通所するうち、実習中は意欲的に作業していた咲歩も毎日となるとだんだん作業をやらなくなり、ただ行って帰るだけの通所が続きました。満員電車に乗り、そこからまた長く歩く通所で、体力作りやイライラ発散のためにはいいのですがヘルパーさんに頼めない日私が連れて行くのも色々気遣わなくてはならず、かなりストレスでした。

そんな中咲歩もイライラが募り他害行為で問題を起こしました。その時通所して1年ほどでしたが、もう限界だと思い他の事業所を探すことにしました。方々調べているうちにエゼル福祉会のWILLに以前私が所用で見学に行ったことを思い出しました。WILLだと自宅から歩いて20分くらいで通いやすいなと思ったのも決め手でした。ホームページからメールで連絡をと

り、咲歩と見学、お試して実習 の流れでした。実習は2日間で1日は朝から帰りまで付き添わなくてはならぬかなか大変でした。でも咲歩と見学に行った際、施設の環境や仲間の皆さん、職員さんたちがとても良かったのもうここしかない！と思ったので頑張りました。咲歩にもイライラが強くてカタログはがし、という破壊してもいい作業(笑)があるのと環境的に逃げ場があるのがいいなと思いました。その後通所の承諾を無事いただくことができ、余暇活動もカラオケや散歩、おでかけなど楽しみにしながら自傷他害行為もほとんどなくなり安定して通所できております。お給料(工賃)で本人の好きなWILLの仲間が作るお菓子を買って帰るのも楽しみのひとつになりました。

思えばコロナは誤算でしたが、私は咲歩に事業所選で高望みをしたのかもしれない

と思いました。親がこうあってほしい、頑張ったらできるかも、と思う気持ちが強かったのかもしれませんが。そして本人の気持ちが落ち着く環境が何より大切だなと思いました。場所を選ぶのは親でも通うのは本人であり、自分の感情をうまく言葉では話せない娘にとって、その場で表出する態度が本人の思いの全てです。笑顔で通所し帰ってくる今の咲歩を見ていて本当に良かったなと、WILLには本当に感謝しております。

今は私も安心して毎日送り出しております。事業所選びは大変かもしれませんが通ってみなければ分からないことはあり、合わないれば変わればいいだけのこと。絶対ずっとここだと思わずに選択肢を広げるのもいいのではないかなと思います。以上拙い文章ですが読んでくださりありがとうございます。

上田咲歩さんの支援を

振返って

通所 WILL 大森 直子

咲歩さんがWILLに通い始めたのは、2022年4月。最初は、仕事ができない日があったり、帰宅時間になってもなかなか帰れなかったり、パニックで自傷や他害につながってしまうこともありました。

慣れない環境に落ち着かず、咲歩さんが逃げ込んだ場所はトイレでした。WILLのトイレはエアコンが完備されていて、車いすの方も利用されるので、かなり広くて快適です。その当時の咲歩さんを一人にしておくのは不安があったので、職員も中に入り、長い時

は1時間以上一緒にこもることもありま
した。

ご家族から教えていただいた言葉遊びを
繰り返したり、好きだと聞いていた歌を歌っ
てみたり、トイレの中は、咲歩さんと職員が
1対1でじっくり向き合い、お互いの関係を
作っていく場所になりました。

タイミングを見て「作業室に戻ろう」と声
を掛けると「いけない!」と返され、「お仕
事しよう」と声を掛けると「やらない!」と
返され、咲歩さんのトイレもりは続きまし
た。

ある時、「いけない!」「やらない!」と言
うのも咲歩さんの意思だと考え、尊重してみ
よう、必ず明るく「いいよ!」と返すことに
決めました。初めて「いいよ!」と返した時、
咲歩さんは少しびっくりしたように見えま
した。

「いけない!」「いいよ!」、「やらない!」

「いいよ!」という会話を何十回も何百回も
繰り返し、咲歩さんが今、何に困っているの
かを考え、どうすれば安心できるのか、どう
すれば一步を踏み出せるのか職員みんなで
試行錯誤を繰り返し、トイレにこもる時間は
徐々に少なくなっていました。

今では作業室で一日仕事をして、お昼は皆
とTVを見て、余暇活動ではカラオケが楽し
みなようです。帰り道にヘルパーとマクドナ
ルドに寄り道する楽しみも見つけました。一
緒にお仕事をしながら、「今日はマックで何
食べるの?」「ポテト!」と会話するのが楽
しく、私もとても嬉しい時間です。

咲歩さんは、名前に「咲く」という文字が
あるように、その笑顔で周りをぱっと華やか
な温かい気持ちにしてくれます。そして「歩
く」という文字にあるように、ゆっくりゆっ

くり周りを確かめながら、でも着実に成長し
ていかれる人だと感じています。私たち支援
者に気付きと温かい気持ちを与えてくれる
咲歩さんと、これからも一緒に歩き続けてい
きたいと思っています。咲歩さん、ご家族の
皆さま、WILLを選んでくれてありがとう
ございます。これからもよろしくお願いいた
します。



(左) 上田咲歩さん (右) 大森

会報 174 号で掲載しました【障害のあるわが子の進路先を考える】セミナーのチラシを掲載しました。掲載内容に誤りがありましたので、ここで訂正しお詫び申し上げます。

【訂正前】日時 2025年9月6日

【訂正後】日時 2025年9月3日

お申込みはチラシにあるQRコード、お電話で受け付けております。

わが子にふさわしい
将来は・・・

【障害のあるわが子の進路先を考える】

～日中活動の場を選ぶ指針とは～ 参加費無料

2006年の自立支援法の規制緩和によって、障害福祉分野に多様な運営主体が参入できるようになりました。障害のあるわが子の進路選択に親はどのような物差しを持てば良いのか、保護者様におかれましては迷い悩まれるとご推察致します。

そのような課題に応えることを目的に様々な運営主体の特徴を紹介し、障害のあるお子様の進路選択の参考にして頂ければと、「**進路選択のセミナー**」を企画致しました。

日時

2025年 9月 3日 AM 10:00～PM 13:30

場所

イーブルなごや
(名古屋市男女平等参画推進センター・女性会館)

講師

新美 貴久氏 (名古屋市障害企画課 課長)

参加団体

①社会福祉法人 名北福祉会(北区)

②社会福祉法人 エセル福祉会(西区)

③社会福祉法人 やまびこ福祉会(中村区)

④社会福祉法人 あいうえおハウス(瑞穂区)

⑤社会福祉法人 みなと福祉会(港区)

⑥社会福祉法人 名古屋キリスト教社会館(南区)

-----プログラム-----

10:00	開会挨拶
10:15～11:00	講 演 「我が子にふさわしい進路選択を考える」
11:00～11:15	質疑応答
11:15～12:15	各法人の事業紹介
12:15～12:45	事業所への質問
12:45～13:30	各ブースでの相談会



お申込みは電話または
QRコードより
お申込みください→



<https://forms.gle/N3m5bNcnajgz67Un9>

アクセス

- 地下鉄 名城線「東区」下車1番出口から東へ徒歩3分
- 市バス 金山26系統 または 昭和巡回系統「大井町」バス停前
- 駐車場 49台(30分以上 1回300円)

お問合せ・お申込み ☎ **052-505-6082**
進路対策社会福祉法人ネットワーク





《活動状況》

5月

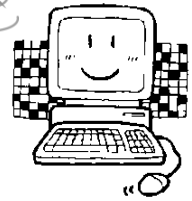
- 6日 WILL・VOLO 祝日開所
- 3日 サロン開催
- 7日 愛知淑徳大学二宮先生来所 動作法
- 11日 重度訪問介護従業者養成研修(2日目)
- 12日 連絡調整会議
- 16日 建設委員会
- 18日 重度訪問介護従業者養成研修(3日目)
- 20日 評議員選任・解任委員会
- 20.21日 サービス管理責任者研修 (榊原芳)
- 21日 愛知淑徳大学二宮先生来所 動作法
- 22日 親の会
- 24日 介護福祉士会 地域生活共生研修講師
(溝口)
- 26日 会報発送
監事会
- 27日 社協 虐待防止研修 (石原友)
- 27日 血友病勉強会 (講師:服部)
- 28日 建設委員会
- 31日 理事会

6月

- 4日 会報会議
- 7日 音楽サロン開催
演奏者 加藤麻里さん (ピアノ)
- 7日 サンホープまつり出店 (製菓販売)
- 9日 建設委員会
- 9日 連絡調整会議
- 11日 愛知淑徳大学二宮先生来所 動作法
- 15日 評議員会
生活支援部 バーベキューレク
- 18日 通所利用者 健康診断
- 18日 むつみグリーンハウス様VOLO見学
- 21日 理事会
- 21日 就職フェア ウイंकあいち (榊原芳)
- 23日 建設委員会
- 25日 愛知淑徳大学二宮先生来所 動作法
- 26日 NPOコンビニの会 理事会
- 28日 同朋大学 ソーシャルスキル
トレーニング講座 (佐藤幸)
- 30日 天白特別支援学校訪問 (大川・榊原芳)



事務局コーナー



「ご協力ありがとうございました」

5月～6月（敬称略・順不同）

★ ご寄付いただいた方々

(NPO 法人コンビニの会)

※会報購読料1万円以上お振込みの方

伊藤衿子 中島温子

長柄伸子 塚原玄織

新地豊子 堀部裕子

渥美 弥 滝藤建設(株)

ライフ&ワークスチャオ Amalfi

★ 物品寄付をいただいた方々

(コンビニハウス)

安永麻里 鈴木丈登 塩澤しのか

石原まち 東原光江 山田肥名子

滝藤建設(株)

(WILL)

上田咲歩 安藤麻那美 親の会

(VOLO)

安永麻里 塩澤しのか 小出朱里

高嶋 颯 久保昂太郎 高田真由美

早川佳乃 長野資子 服部いづみ

遠藤真衣子

★ 活動にご協力いただいた方々

石原正寅 田村淳仁 佐藤晴紀

石原まち 寺西 剛 鈴木千春

東原光江 山本 武 我妻勇男

辻本道子 村瀬万帆 酒井まみ子

白木佑叡 尾崎杏香 榊原つぐみ

小林愛恵 杉井志織 北出麻衣

桐澤 潮 重松歩月 玉那覇詠洸

小西涼真 大塚幸子 青島優津樹

早川あい 伊藤葉月 牛田楓乃

坂木夢菜 大倉晴菜 井伊裕美

原田浩平 藤本茉優 内山俊吾

鈴木心透 長谷川美緒

岩鼻海斗 山崎ゆき奈

★ 会報発送ボランティア

丹羽正子 佐藤美紀子

★ 地域サロンボランティア

伊藤葉月 田原朋代

福祉マンション「さんび」建設状況

2025年7月時点

場所：名古屋市西区中小田井二丁目431番地



(全景) 7月～8月に1階部分、9月に2階部分、10月に3階部分の
躯体工事計画になっています ※注：奥の建物はさんびではありません



(建物のピット内) 給排水管や電気
配線などの設備を収容・メンテナ
スするために設けられた空間です



(西側部分) これから境界に
ブロックを立てます

【銀行口座】

三菱UFJ銀行 小田井支店 店番 238 (普) 口座番号 1440108

特定非営利活動法人 コンビニの会

【郵便振替口座】番号 00800-2-35190 コンビニの会

ご意見・ご質問・お問い合わせは下記までお寄せください。

障害のある人たちの地域生活を支援する

特定非営利活動法人

〒452-0807 名古屋市西区歌里町 147 番地

コンビニハウス Tel (052) 502-7731

Fax (052) 505-6082

URL <https://ezeru.or.jp/>

E-mail convini@ezeru.or.jp



コンビニの会

理事 宮川 優子